



四日市市茶業振興センターへ出かけました。(4年生)

11月8日(水)午前中、4年生は四日市市茶業振興センターへ社会見学に出かけました。ゲストティーチャーとして水沢の茶業に携わっている地元2名の方にもお世話になり、実際に茶農園に行き、お茶の収穫時期や茶葉の刈り取り方法、作業の時間帯などを教えていただきました。黒い網をかぶせてできるかぶせ茶についても説明していただきました。指導者から茶畑の奥行について聞かれると、「8m、10m……」とか答え、長さ感覚のわからない子どもたちがいたので、実際に端から端まで小走りをして確かめました(実際は48mあるのだそうです)。お茶の葉の色の違いに気づき、どうして葉の色が薄い所と濃い色の所があるのか、違いについて質問している子がいました(薄いのは、刈り取った後の新芽が出てきているとのことでした)。

茶業振興センターに戻ってからは、施設内を見学させていただき、生産者の仕事、仕上げ茶製造工程について教えていただきました。掲示してあるパネルに書いてある説明を、書きもらさないようにメモしている子がたくさんいました。

最後に、蒸したお茶の葉を、手で揉んだり、捻げたり、電子レンジで乾かしたりといった作業を何度も繰り返し、急須に入れるお茶の葉へと加工する体験をしました。ポットのお湯を湯ざましに入れ、次に湯ざましのお湯を急須に入れました。こうすることによって、お湯の温度が10℃ぐらい下がり、味わいのあるお茶が飲めるのだそうです。子どもたちは、茶葉を2つまみぐらい入れ、自分で加工したお茶を飲んでいました。程よいおいしさになっている子もいましたし、「にがい」と言っている子もいました。

今回の社会見学では、茶業振興センターの職員、地元茶農家の方々に、大変お世話になりました。直接子どもたちと関わる、いい出会い、ふれあいとなり、大変感謝しております。ありがとうございました。



後期委員の認証式、さまざまな表彰を行いました。

11月13日(月)の5限目に後期委員会委員長、学級委員の認証式を行いました。また、「読書感想文」「三泗小中社会科展」「三泗小中科学展」「三泗小学校陸上記録会」の表彰式を行いました。

認証式では、名前を呼ばれたら、大きな返事をして立つ子が多く、代表委員となった子たちから、「よしやるぞっ」という意気込みが感じ取れました。見ていて頼もしかったです。また、さまざまなコンクールや展示に作品を提出し、優秀と認められた子どもたち、記録会で活躍した子どもたちに対しての表彰・代表選手の披露を行いました。表彰後や披露後には、子どもたちから大きな拍手が起こっていました。こういった姿は、一緒に過ごしているなかまに元気を与え、「また、次もがんばろう」という意欲へとつながります。「がんばっている人をたたえる」「がんばろうとしている人を拍手で応援し、自分も協力する」といった姿勢はとても大切なことです。

学校は、先生、子ども、保護者、地域の方々、みんなが同じ方向を向いて創(つく)っていくものです。皆さんの代表となる後期委員会委員長、学級委員を中心に、周りにいる皆さんが協力して、「やさしい、あたたかい雰囲気のある学校」を2学期、3学期もつくってほしいと思います。



第62回三泗小学校音楽会が近づいてきました。

11月16日(木)に、「第62回三泗小学校音楽会」が開催されます。これまで4、5年生は、地区文化祭や校内の全校集会でも歌声を披露してきました。当日は、四日市市文化会館大ホールでプログラムNO.1(トップバッター)として登場します。緊張はすると思いますが、音楽会全体がよいものとなるように、大きな声を出して元気に歌い切り、音楽会全体のいい流れを作ってほしいと思います。(文責 北住 昌文)

